

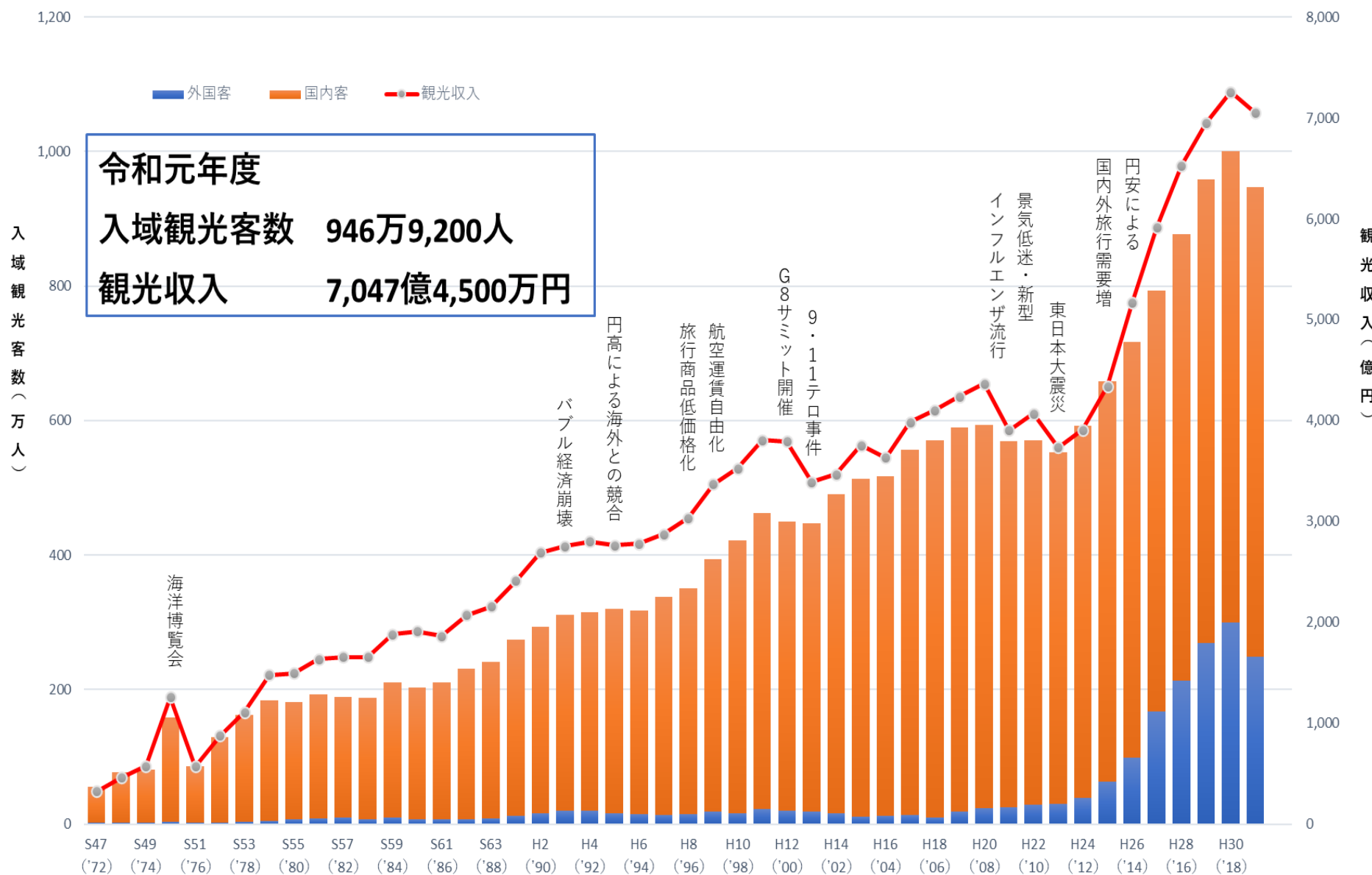
2019年度実績

観光収入 **7,047億円**
(達成率 64%)

延宿泊者数 **3,287万人泊**
(達成率 78%)

入域観光客数 **946万人**
(達成率 79%)

入域観光客数と観光収入推移

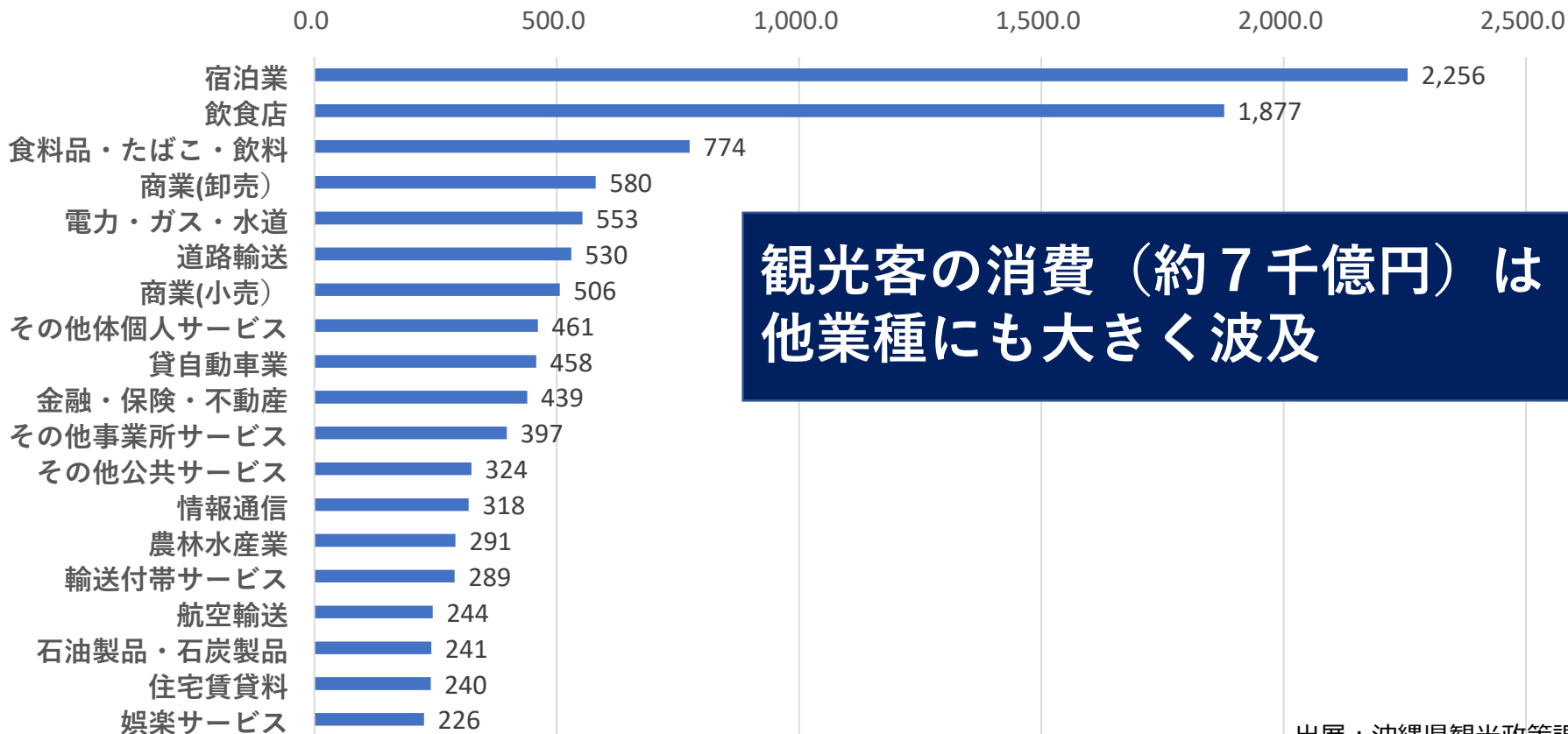


平成29年度沖縄県「旅行・観光の経済波及効果（推計）」

経済波及効果	1兆1,700億円	H27比較 14.2%増
付加価値誘発効果	5,736億円	H27比較 13.0%増
雇用誘発効果	142,734人	H27比較 13.2%

産業別波及効果(直接・一次・二次効果,上位のみ)

単位：億円



観光客の消費（約7千億円）は他業種にも大きく波及

沖縄県の宿泊施設数は全国 **1** 位！

軒	旅館	リゾート ホテル	ビジネス ホテル	シティ ホテル	簡易宿 所	会社・ 団体の 宿泊所	
沖縄県	4,538	200	300	450	230	3,320	40
京都府	4,328	630	50	250	110	3,260	20
長野県	4,102	1,550	210	150	20	1,920	220
東京都	2,557	470	20	890	170	970	40
北海道	2,546	880	170	480	90	860	70

沖縄県の「延宿泊者数」は全国 **4** 位！

単位：人泊

東京都	78,981,720
大阪府	47,427,510
北海道	36,983,420
沖縄県	32,865,670
京都府	30,749,560



1日当たり
9万人の人口

沖縄県における観光客増加の プラス効果とマイナス効果とは？

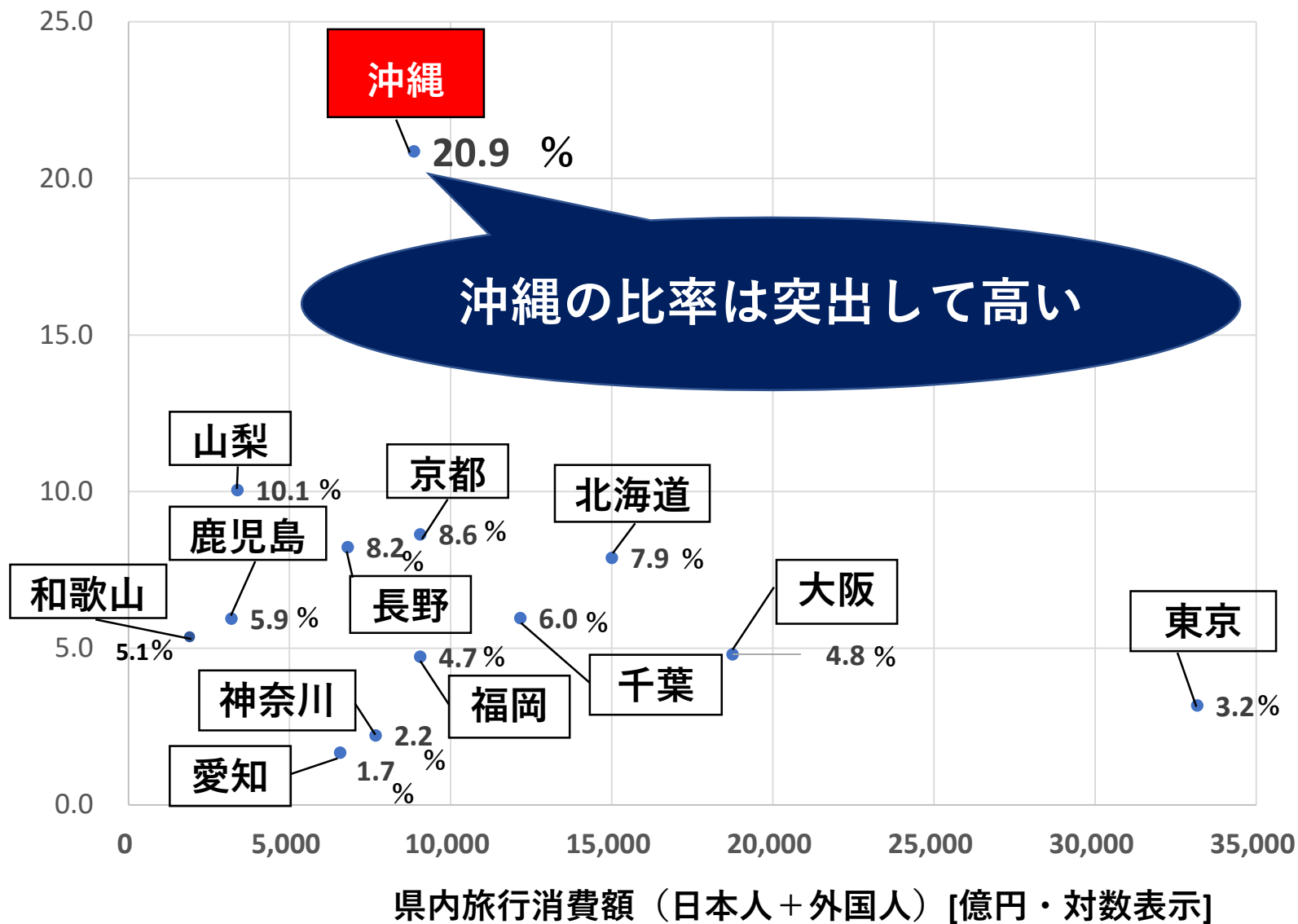


観光客増加によるプラス効果

- **経済効果** ⇒ **地域経済活性化に大きく貢献**
* 雇用、税制効果含む
- **社会効果** ⇒ **教育効果や地域の賑わい**
* 地域文化振興等含む
- **異文化理解効果** ⇒ **国際社会理解**
- **環境保全効果** ⇒ **持続的な観光振興**
- **インフラ整備効果** ⇒ **受け入れ体制**
* 県民生活水準向上

参考：地域別GDPにおける観光の比率

2019年の県内旅行消費額／2016年度の県内総生産 [%]



観光客増加によるマイナスも！

- 物価上昇 ⇒ 不動産、生活用品
- 交通渋滞 ⇒ 県民＋レンタカー
- 騒音増加 ⇒ 都市部、離島部
- ゴミ増加 ⇒ 処理能力への圧力
- **生活への影響 ⇒ 平穏な生活の維持**
- 犯罪増加 ⇒ 可能性
- 税金UP ⇒ インフラ整備等
- 環境破壊 ⇒ 行き過ぎた開発
- 資源不足 ⇒ 水、電力等
- 危機管理 ⇒ 災害時対応、テロ等

観光客が訪れることによる影響（複数回答）



沖縄観光の課題

- ①一人当たり消費額の増加
⇒滞在日数&消費単価増加
- ②二次交通整備
⇒移動利便性向上
- ③新たな魅力の創出
⇒食、体験等
- ④観光インフラ(ハード&ソフト)の整備
⇒景観、ウォーターフロント、通信等
- ⑤観光地マネジメント
⇒持続可能な観光地、人材育成等



那覇空港第二滑走路完成

2020.3.26

- 混雑緩和
- 24時間運用
- 新規路線誘致
- 緊急時対応